


## 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	はまだ やすゆき		
氏名	濱田 安之		
所属・役職	株式会社農業情報設計社 代表取締役 CEO, ファウンダー		
活動拠点	北海道帯広市を中心に活動中		
略歴	1970 年(S45)北海道室蘭市生まれ。北海道大学農学部卒業後、1996 年(H8) 生研機構（生物系特定産業技術研究推進機構）に入所。農林水産省生産局、生物系特定産業技術研究支援センター、北海道農業研究センター芽室研究拠点畑作研究領域を経て 2014 年(H26)に農業情報設計社を設立した。		
地域情報化の専門分野・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業分野での GNSS 利活用を中心とした生産技術の高度化</li> <li>2. 農作業に係る情報や農業機械の計測制御データの通信技術とその共通化</li> </ol>		
専門分野	農林水産業 スタートアップ支援（起業支援）		
自治体向けメッセージ	農業機械を中心とした農業生産技術の自動化やロボット化、情報化に関する知見と農作業支援システムなど、「農作物・畑・田んぼそして農業者に一番近い先端技術」の開発・提供に取り組んできました。また、スタートアップの経営により得た知見で起業を支援いたします。当方の持つ知見が地域情報化のお役に立てると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。		
関連サイト	<a href="http://agri-info-design.com/">http://agri-info-design.com/</a>		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>「畑・田んぼ用カーナビ」である GPS ガイダンスシステムや圃場内の場所ごとに適切な管理を行う精密農業を支援するシステム、全自動で農作業を行う小型のロボットトラクターを開発するとともに、国内の大手農機メーカー及び日本農業機械工業会との共同プロジェクトのリーダーとして農業機械通信の共通化に取り組んできました。現在国産のほぼすべてのトラクタに成果（日農工規格 AG-PORT）が搭載されている。</p> <p>また、農業機械内部の情報通信制御の共通化・標準化に関する ISO の日本代表委員のほか、海外の農業データ連携基盤 AgGateway の日本国内団体の設立メンバーとしても活動中。</p>	
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	ドローンとロボットトラクターを核とした地域での先端農作業技術実証プロジェクトにおける特区申請へ知見の提供を行った。	